

ベルリン＝ブランデンブルク・プロイセン宮殿庭園財団 セールスマニュアル



サンスーシ宮殿

© SPSPG, Schloss Sanssouci-Hans; Ch Krass.

サンスーシ (Sans Souci)

プロイセン王が愛したベルリンとポツダムのプロイセン宮殿と庭園群

ベルリン、ブランデンブルク、ポツダムに点在する30余りの宮殿と庭園は、プロイセン王と王妃の輝かしい時代へのタイムトラベルができる場所。完成度の高いプロイセンの建築と庭園芸術の証として、その多くが1990年にユネスコ世界文化遺産に登録された。宮殿・庭園群は、ベルリン＝ブランデンブルク・プロイセン宮殿庭園財団が管理している。

ベルリンは、広大な公園や森、湖があるドイツでもっとも緑の多い都市。夏は屋外が好まれ、日中は陽の光を、夜は心地よい風を感じる水辺のバーやカフェ、野外シネマや演劇に人々が集まる。ベルリンは自由の町としても世界に知られる都市だ。

活気あふれるベルリンからほんの目と鼻の先にあるポツダムは都会の喧騒を忘れさせる町。華麗なバロック様式のファッサードと美しい裏庭、世界のアートや地元のストリートカルチャーが混ざり合う。広大な公園には別世界の景観が隠れ、緑の中に印象的な宮殿がそびえ立つ。絵のように美しいハーフェル湖は水上競技エリアと続いており、ヨットやカヌー、モーターボートでにぎわっている。そして現れるのがユネスコ世界文化遺産の驚くべき光景だ。100年余り前から国内外の映画産業にインスピレーションを与えてきた素晴らしい景観が広がる。

サンスーシ宮殿：フリードリッヒ大王 — サンスーシの哲学者

「あらゆる憂いは遠い彼方にある。甘美なワインが豊かに育まれるオリンポス山にそびえるサンスーシ宮殿は、この世のあらゆる重苦しさから解放される」—。フリードリッヒ大王は、ポツダムの離宮サンスーシをこのように思い描いた。王のプライバシーが約束されるあらゆるものをそそえたが、自分用に想定した部屋は少なく、その代わりに内装とデザインは洗練されている。フリードリッヒ大王は、大理石の間で友人と食卓を囲み歓談することを好み、12部屋あるうち5つの客間は常に使用されていた。賓客たちは、豪華な部屋から一步テラスに出ると、目に入ってくるバロック様式庭園を眺めた。有名なテラス状のブドウ畑の上に立つ夏の離宮は、才知に富み音楽を愛する大王のお気に入りの宮殿であった。サ

ンスーシ宮殿と庭園の調和は、今もなお訪れる人を魅了し、プロイセンの歴史を体験できる特別な場所である。

チケット&料金：

サンスーシ宮殿：14€、割引10€

サンスーシ・プラス（サンスーシ宮殿を含むポツダム宮殿群すべてに有効な1日券）：22€、割引17€

開館：4～10月／9:00-17:30、11～3月／9:00-16:30
月曜休

グループ向け：

サンスーシ宮殿オーディオガイド付き（日本語あり）：
240€/各グループ（最大25名、所要時間60分、通年催行）

シャルロッテンブルク宮殿 (ベルリン) — ホーエンツォレルン王家お気に入りの宮殿

本棟である旧宮殿と新翼からなるシャルロッテンブルク宮殿は、ドイツの首都ベルリンの最も重要な見どころの一つ。ブランデンブルク選帝侯、プロイセン王、ドイツ皇帝代々の宮殿として、ベルリンで最大かつ最も重要なものである。七代にわたるホーエンツォレルン家君主が好んだ宮殿の一つで、部屋や庭園は度々改装され、華麗な装飾が施されている。バロックから20世紀初頭までこの宮殿で過ごした人々が、儀礼あるいは個人の趣向で手を加えた変化の軌跡がよくわかる。第二次世界大戦で甚大な被害を受け、大規模な修復の後、陶磁器の間、宮殿チャペル、フリードリッヒ一世の寝室などバロック様式のかつての夏の離宮をほぼ当時のまま見学することができる。近年公開となった旧宮殿上階にある「銀の間」には、ドイツ君主国時代の貴重な宝物が収められている。初代プロイセン王夫妻の即位の際に制作された王冠、王笏（おうしゃく）、十字架付き宝珠、選帝侯剣、印章のほか、貴重な宝物を鑑賞することができる。



© SPSPG, Schloss Charlottenburg; J-Rosenow.



© SPSPG, Schloss-Charlottenburg; Reinhardt und Sommer.



© PMSG, SPSPG Park Sanssouci; Andre Stiebitz.jpg.

チケット & 料金：

シャルロッテンブルク宮殿：本棟/新翼 各12€、割引8€

シャルロッテンブルク・プラス（シャルロッテンブルク施設すべてに有効な一日券）：19€、割引14€

開館：4～10月/10:00-17:30、11～3月/10:00-16:30
月曜休

グループ向け：

シャルロッテンブルク宮殿本棟マルチメディアガイド（日本語あり）：180€/各グループ（最大25名、所要時間40分、通年催行）

ツェツィーリエンホーフ宮殿 (ポツダム) — 歴史の舞台

1913～17年にかけて英国様式に建てられたツェツィーリエンホーフ宮殿は、ホーエンツォレルン家最後の宮殿である。1945年まではプロイセン最後のドイツ皇太子夫妻ヴィルヘルムとツェツィーリ（1886～1954）が住んでいた。1945年7月17日から8月2日までの間、ベルリンの門前にあるツェツィーリエンホーフ宮殿は、第二次世界大戦の戦勝国である米国、英国、ソ連の三国首脳がドイツの行く末や欧州および世界の政治・領土の新秩序について話し合うポツダム会談という世界史の舞台となった。欧州では第二次世界大戦が終焉を迎え、ハリー・S・トルーマン、ウィンストン・チャーチル、ヨシフ・スターリンの三国首脳が交渉する間、アジアや太平洋ではさらなる戦いが続いており、1945年8月6日に広島、8月9日には長崎に原子爆弾が投下された。常設展では、会談の間や三国首脳執務室など宮殿内の歴史的な部屋を見学することができる。1945年へのタイムトラベル体験が可能だ。



© SPSPG, Schloss Cecilienhof; H_Bach.



© SPSPG, Schloss Cecilienhof/Konferenzsaal; L_Seidel.

チケット & 料金：

ポツダム会談見学コース：12€、割引8€

開館：4～10月/10:00-17:30、11～3月/10:00-16:30
月曜休

グループ向け：

ツェツィーリエンホーフ宮殿マルチメディアガイド（日本語あり）：160€/各グループ（最大20名、所要時間60分、通年催行）

*割引対象、及び各チケット種類詳細は[こちら](#)



STIFTUNG
PREUSSISCHE SCHLÖSSER UND GÄRTEN
BERLIN-BRANDENBURG

問い合わせ先：ベルリン＝ブランデンブルク・プロイセン宮殿庭園財団

詳細：<https://www.spspg.de> | <https://www.spspg.de/en/travel-trade> | [Tickets online](#)

グループ問い合わせ：E-mail: gruppenservice@spspg.de

観光マーケティング担当：Jeannette Birk E-mail: j.birk@spspg.de

Instagram: [@spspgmuseum](#) and [@sanssouci.palace](#)

Facebook: [@spspgmuseum](#) and [@SchlossSanssouci](#)

掲載情報は、2023年3月現在のものです。

www.germany.travel

ツークシュピッツェ セールスマニュアル



© Bayerische-Zugspitzbahn-Matthias Fend

ドイツの最高峰ツークシュピッツェ山へ

雄大な山々を眺めながらアクティビティやグルメを楽しめるツークシュピッツェ山

これは誇張ではない。標高2962mのツークシュピッツェ山はまさに最上級の山。ドイツで最も高い標高にあるこの山には3つの氷河があり、4カ国の山々を360度見渡せるパノラマと幅広いアクティビティが揃っている。



Zugspitze-Gastro-1 © Bayerische-Zugspitzbahn-Matthias Fend

最新式ロープウェイは、パノラマ景観の中を高速かつ快適に雲を抜けて走る。ツークシュピッツェ・ロープウェイは乗客をわずか9分でドイツ最高峰へと運ぶ、新しい時代の幕開けともいえる乗り物だ。2017年12月以降、全面ガラス張りの2台の大型キャビンが、1時間に最大580人の乗客を山頂まで運ぶ。長い列に並ぶのは過去の話となった。そして、ツークシュピッツェ・ロープウェイでは3つの世界記録を体験することができる。途中通過する鉄塔の高さ127m、移動標高差1945m、支柱間のスパン3213m。これらはいずれも世界記録の数値である。

山頂に到着すると360度のパノラマが広がっている。ツークシュピッツェ山頂での究極の開放感は、筆舌に尽くしがたい。天候に恵まれれば、ドイツ、オーストリア、イタリア、スイスの400峰の山海が見渡せる。

新しい山頂レストラン「パノラマ2962」は、ツークシュピッツェの新たなスポット。海拔3,000mに位置する多機能レストランで、建築設計上も卓越したものとなっている。ツークシュピッツェ山から見晴らせる4カ国のパノラマビューにちなんで、料理のテーマは「the best from 4 countries」。アルプス地方の代表的な料理をパノラマビューとともに味わえる。



© Bayerische-Zugspitzbahn-Matthias Fend

ツークシュピッツェ山頂で絶景を堪能した後、雪に触れてみたいと思ったら、氷河ロープウェイに乗るとツークシュピッツェ氷河に出る。ツークシュピッツェ氷河では1年中そりを楽しめ、氷河レストラン「Sonnalpin」周辺は雪の散歩に最適。サンテラスで日光浴やアルプスの眺めを満喫することができる。

冬のツークシュピッツェ氷河スキー場は、まさに至高の空間となる。海拔2,000~2,720mという標高のため、1年のうち6カ月間は天然雪に深く覆われ、渓谷が濃い霧に包まれても太陽のもとで滑ることができる。家族連れや初心者はもちろん、経験豊かなスキーヤーやスノーボーダーが利用できる20kmに及ぶ初~中級コースが整備されている。

夏のシーズンは、ハイキングや登山などアクティブな旅が楽しめる。さらに、ツークシュピッツェ氷河や気候変動が氷河に与える影響などを学べる氷河冒険コースやガイド付き氷河ツアーを体験することも可能だ。

下山時は、歴史あるラック式鉄道利用がオススメ。90年以上も昔からツークシュピッツェ氷河と麓を行き来する人々



© Bayerische-Zugspitzbahn-Matthias Fend



© Bayerische-Zugspitzbahn-Matthias Fend

を安全に運んでいる。ツークシュピッツェ山頂で冒険した後、車窓から移り行く山々の景色を眺めながら山を下りることで充実した旅の一日となる。

バイエルン・ツークシュピッツェ鉄道社のロープウェイや登山鉄道は、ウィンタースポーツ愛好家、自然愛好家、ロマンチスト、日光浴が好きな人などあらゆる人にツークシュピッツェ山の素晴らしさと発見の機会を与えている。



山好きが集まるエリア — ガルミッシュ・クラシック

ツークシュピッツェ山に隣接するガルミッシュ・クラシックとヴァンク山。このエリアは山岳愛好家を魅了する地域だ。ハイキングや登山、スキー場などの設備が整うガルミッシュ・クラシックには、家族連れやシニア、プロ・アマ問わずアスリート



© Bayerische-Zugspitzbahn-Matthias Fend

にぴったりのエクスカッションやアクティビティが数多くある。バイエルン・ツークシュピッツェ鉄道社のロープウェイで、夏冬どちらのシーズンもアルプシュピッツェ山とクロイツェック山にアクセスすることができる。スキーシーズン中は、ハウスベルクバーン・ゴンドラリフトでハウスベルク山頂に行くのが便利だ。ガルミッシュ・クラシック一番のハイライトであるアルプスピックス展望台からは、息をのむような絶景が望める。山岳風景に囲まれたこのエリアは、ハイキングやサイクリング、夏のパラグライダー、冬のスノーボードなど山を愛するすべての人に理想的なデステーションである。

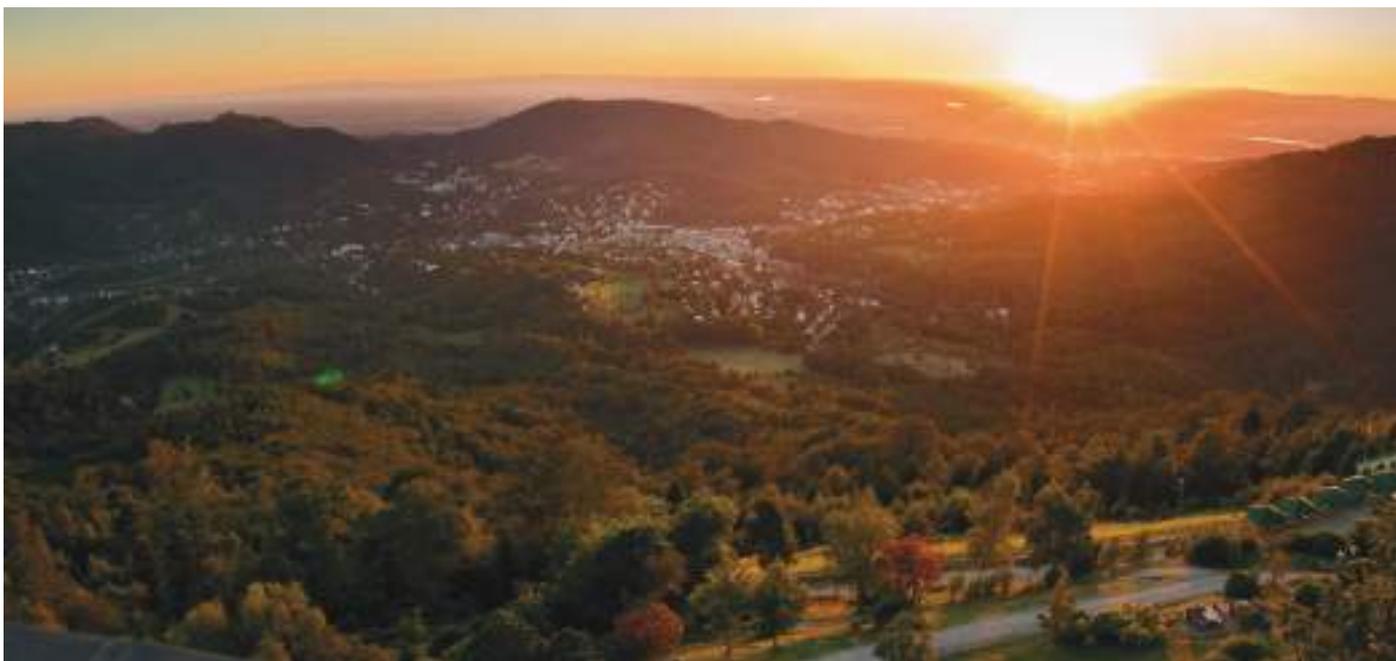


ツークシュピッツェ鉄道
Bayerische Zugspitzbahn Bergbahn AG
Olympiastraße 31
82467 Garmisch-Partenkirchen

Email: sales@zugspitze.de
Telefon: +49 8821 797 9035
Twitter: [@zugspitze2962](https://twitter.com/zugspitze2962)
Instagram: [@zugspitze.de](https://www.instagram.com/zugspitze.de)

URL: www.zugspitze.de

バーデン・バーデン セールスマニュアル



© BBT, N.Dautel

バーデン・バーデン2023

多彩な顔を持つバーデン・バーデンではさまざまな体験ができる。文化の町として国際的にも知られるバーデン・バーデンは牧歌的な黒い森の入口にあり、地中海的な風情と都会の文化が混ざり合う、世界中の旅行者を魅了する町だ。芸術やクラシック音楽愛好家だけではなく、美食家、自然・健康志向の人など多くの人に幸せをもたらしている。

日本からバーデン・バーデンへのアクセスは快適。フランクフルトやチューリッヒ、ストラスブール空港からシャトルバスと快速列車で60～90分で到着する。



芸術に溢れる町

観て、聴いて、踊り、感動する。バーデン・バーデンが最も小さな世界都市と呼ばれるのには理由がある。最高峰の文化・芸術に街のいたるところで触れることができるのだ。ドイツ国内でも名高い州立美術館と市立博物館、フリーダー・ブルダ美術館が集まる一角 [ミュージアムマイル](#)、トップスターによる公演が催される [祝祭劇場](#)。オペラ、ジャズ、シンフォニーコンサート、[南西ドイツ放送New POP Festival](#)などのイベントは大人も子供も楽しむことができ音楽ファンを沸かせている。他にも国際ダンス選手権、舞踏会の数々、[クアハウス](#)、ベナゼホール、劇場などジャンルを問わず最高の体験ができるのがバーデン・バーデンの町だ。



© Andrea Krempfer



© Thomas Straub



© Black Forest Production



© Baden-Baden Kur & Tourismus GmbH, C. Cancellieri

イベント&体験ハイライト

- 祝祭劇場、劇場、カジノガイドツアー
- [トッカリオン](#)：5～12歳までの子供が体験しながら音楽に親しめるファミリー向けミュージックワールド
- バーデン・バーデン イースター音楽祭 (2023/4/1～10)：ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団によるコンサート
- [アートシティ](#) (2023/7/15～9/3)：国際芸術家の手によりクア公園が体験型アートパークとなるイベント
- [フィルハーモニーのタベ](#) (2023/7/29)：ダリア公園内リヒテンターラー・アレーで開かれる野外コンサート



フリーダー・ブルダ美術館 企画展

2023/4/30まで

TRANSFORMERS

フリーダー・ブルダ作蔵作品と

人工知能生命の対話

2023/5/20～10/8

The king is dead, long live the queen

31人の女性現代美術家による展覧会



豆知識

バーデン・バーデン祝祭劇場は2023年、創立25周年を迎える。

2500席のホールは、ドイツ最大のオペラとコンサートホールで、欧州では2番目の大きさを誇る。

散策したくなる緑の町

黒い森の野性美とヤシやレモンの木に見られる南国的な雰囲気、そして、ブドウ畑の景観。バーデン・バーデンには人が自然に癒される環境がそろう。雄大な見晴らしを望める[ハイキングコース](#)は数多く、マウンテンバイクや電動バイクでの[サイクリングツアー](#)、極上の[ゴルフ場](#)、有名なバラ庭園、パラグライダーやクライミングにぴったりの地元の[メルクア山](#)など自然を楽しめるプランがたくさんある。これらが可能となっているのは、バーデン・バーデンの町の中心部に豊かな自然があるからだ。並木道[リヒテンターラー・アレー](#)がグリーンベルトのように市内を横切り、ちょっと一息したり、散策をしたい気分させる。



イベント&体験ハイライト

- [黒い森ガイド](#) 同行ハイキング
- [リヒテンターラー・アレー馬車](#) 散策体験プラン
- ドイツで最も美しいトレッキングコースに認定された[バーデン・バーデンパノラマコース](#)ハイキング
- [熱気球](#)に乗って黒い森とライン渓谷を一望
- [ゲロルサウの滝](#)ハイキング、地産マーケットとレストランで舌鼓
- [国際競馬](#)：イフェッツハイム競馬場には、年3回世界的競走馬が集結。バーデン・バーデンの競馬熱は最高潮に。

豆知識 バーデン・バーデン総面積の61%は森である。

健康促進を目指した町

2000年以上も昔、バーデン・バーデンの町は人々の健康のために築かれた。長年の年月を経た今、特別な処方でも癒しと活力をもたらす魅力ある場所となっている。[カラカラ浴場](#) ウェルネスラウンジでのマッサージ、伝統のある[フリードリヒス浴場](#)、市内スパホテルでゆったりと過ごす一日。バーデン・バーデンは、誰もがオフの時間を満喫できる町だ。



© CARASANA Bäderbetrieb GmbH

© Baden-Baden Kur & Tourismus GmbH, N.Dautel

© Baden-Baden Kur & Tourismus, N.Dautel

イベント&体験ハイライト

- [マッサージと温泉三昧のカラカラ浴場](#)
- スパ&ウェルネスホテル内ビューティサロン [Day-Spa](#)
- [クナイフ療法](#) フットケア
- プレナーズパークホテル&スパ内 [ヴィラ・シュテファニー スパ & ウェルビーイング](#) のデジタルデトックス
- 厳選ホテルの緑の中で行う [ヨガリラクゼーション](#)
- 市内12ステーションある森林フィットネスルート

ユネスコ世界遺産

[ヨーロッパの大温泉保養都市群](#)のひとつとして、バーデン・バーデンは2021年にユネスコ世界文化遺産に登録された。中世以降、20世紀初頭までに築かれた歴史的市街地に世界文化遺産がある。

- [バーデン・バーデン市立博物館](#) 常設展「バーデン・バーデンの二千年の歴史」
- [歩いて巡る世界遺産ツアー](#) では、複数の世界遺産散策ルートを自分のペースで巡る。[\(ガイドツアーあり\)](#)
- [古代ローマ兵士の浴場遺跡](#) 見学



豆知識 バーデン・バーデンには12の泉源があり、68度の治癒力のある鉱泉が一日80万リットル湧出している。

星付きレストランからバーデン風レストランまで

バーデン・バーデンは食欲をそそる町。ピクニックにワインテイasting、ロマンチックなキャンドルディナーなどどんな食事シーンにも地域色や季節を感じる旬の素材、職人技が光り、それが[バーデン・バーデンの多彩な食の世界](#)を彩っている。バーデン・バーデンのテラスとも呼ばれる**ぶどう栽培地レープラント**は、ドイツで最も有名なリースリング種白ワイン名産地のひとつでグルメやワイン好きは外せない場所だ。

イベント&体験ハイライト

- ブドウ畑 [セグウェイ・ツアー](#) (ワイン試飲会付き)
- 展望ハイキング ([ランチバスケット付き](#))、ノイヴァイアーのぶどう畑デイハイキング (5/21)

- [バーデン・バーデン ワインハウス マウアーベルク社](#) で解説付きワイン試飲会、毎金曜日14時30分 (祝日を除く)
- [バーデン・バーデン サマーナイト](#) (2023/6/29~7/2) : クア公園で開催される夏のイベント。ライブコンサートや飲食店あり。
- [クアパーク・ミーティング](#) (2023/8/25~9/3) : 音楽とグルメを楽しめるイベント週間
- [バーデン・バーデン クリスマスマーケット](#) (2023/11/23~2024/1/6) : クアハウス前



豆知識 バーデン・バーデンには星付きレストランが2軒ある。シュタルバートの「Le Jardin de France」、マルテスの「隠れ家キッチン」はいずれもミシュラン一つ星。

コンタクト



Cornelia Stahr
Head of Global Marketing
GCC, USA,
Russia, India

Tel.: +49 7221-275268

E-Mail: stahr@baden-baden.com



Sanja Häcker
Global Marketing Manager
Germany, Switzerland, Austria,
BeNeLux, Spain

Tel.: +49 7221-275207

E-Mail: haecker@baden-baden.com



Katja Flann
Global Marketing Manager
France, UK, Italy, Israel, China,
Japan, Singapore

Tel.: +49 7221-275269

E-Mail: flann@baden-baden.com

BADEN-BADEN

The good-good life.

バーデン・バーデン
Baden-Baden Tourism Board

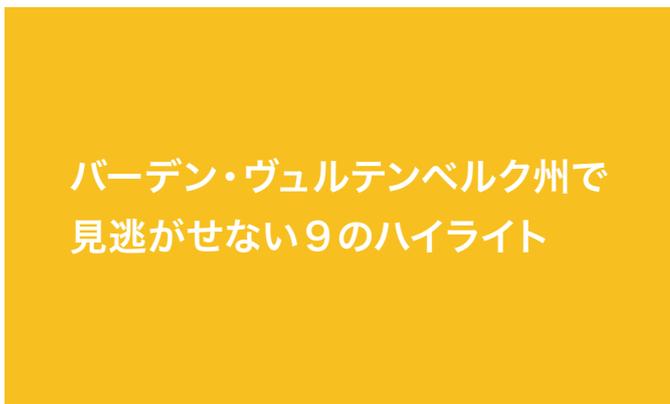
Solmsstraße 1
76530 Baden-Baden Germany

Phone: +49 (0) 7221 275 269

Web: www.baden-baden.com

掲載情報は、2023年3月現在のものです。

ファンタスティック街道 セールスマニュアル



ティティゼー

ティティゼーは黒い森高原地方観光のハイライト。黒い森の魅力のすべてがここに詰まっている。カッコウ時計は、マリー・アントワネットやゲーテによって世界中に広まり、名産の燻製生ハムやサクランボケーキは、この地方ならではの味となっている。また、ハイキングや湖畔のプロムナードの散策などでゆっくり時間をかけて滞在したい観光地だ。

www.visitblackforest.info/



© Black Forest Production GmbH

ブライザッハ

ブライザッハは、西にフランス側のヴォージュ山脈、東にドイツ側の黒い森と2つの高地に挟まれた国境の街。太陽王と呼ばれたルイ16世の時代はフランス領だった。この時代の凱旋門が街の中に残り、街の象徴ミュンスター大聖堂が立つミュンスターベルクの丘からは、街の全体が見渡る。近くのカイザーシュトゥールは有数のワイン生産地だ。

www.breisach-urlaub.de



© Black Forest Production GmbH

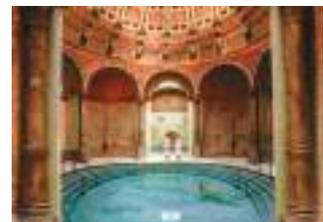


© Black Forest Production GmbH

バーデン・バーデン

エレガントな国際都市バーデン・バーデンでは、世界的に有名な音楽会をはじめ展示会や国際会議が多く開かれる。また、黒い森のお膝元として街には自然があふれ、温泉保養地としても有名な場所だ。一流の芸術と高級ショッピングに加えて、フランス料理の影響を大きく受けたグルメやリースリングワインなど美食が楽しめる街として世界中のセレブにも愛されている。

www.baden-baden.com/en



© Baden-Baden Kur & Tourismus, N. Dautel



© Black Forest Production GmbH

花の島マイナウ

マイナウ島は、四季折々の花を楽しむことができるボーデン湖に浮かぶ島。スウェーデン王家の家系をルーツに持つレナート・ベルナドッテ伯爵が多種多様な植物を集められた。ドイツでは珍しいヤシやシトラス類も生育。チューリップ、蘭、シャクナゲ、バラ、多年生草木やダリアなどが順次開花。島のレストランでは花をテーマにしたランチやティータイムも楽しめる。

www.mainau.de/en/



© Mainau GmbH_Achim Mende

ヴァインハイム

ヴァインハイムは、ファンタスティック街道への入口。ハイデルベルクの北15kmに位置する。初夏から秋にかけては、ヘルマンスホーフ植物園の藤棚の道が有名。川辺のゲルパーフィアテル地区には、趣のある木組みの家が多く残り、ロマンチックな雰囲気が味わえる。日本ではなかなか味わえない、バーデンワインを楽しめるワインレストランも多くある。

www.weinheim.eu/



© Black Forest Production GmbH



© Black Forest Production GmbH

ゲンゲンバッハ

小さな美しい街ゲンゲンバッハでは気軽に散策が楽しめる。街の中心マルクト広場に立つ市庁舎では、12月に入るとクリスマスまで毎日一つずつ市庁舎の窓が開く。テーマは年によって異なり、これまでシャガールやアンディ・ウォーホルなど有名な芸術家の作品が取り上げられた。バーデン地方の料理や特産のワインが楽しめるレストランも多い。

www.visitblackforest.info/



© Stadt Gengenbach_Hubert Grimmig



© Black Forest Production GmbH

コンスタンツ

ボーデン湖畔最大の街コンスタンツは、歴史的な出来事が実際に起こった場所で、歴史を体感することができる街。旧市街には博物館が多く立ち並ぶ。一方で、ショッピングはもちろん、様々な水辺のアトラクション、ワインを含めた地産地消の食などを体験することができる。また、お祭りや各種のイベントが多く開催されている。

www.constance-lake-constance.com/



© Black Forest Production GmbH



© DZT_Maren Krings

チュービンゲン

チュービンゲンは、9人のノーベル賞受賞者を輩出したドイツ最古の大学の一つであるチュービンゲン大学がある大学町で、知識と知能の街とも言われている。旧市街は第二次世界大戦の破壊を免れ、現在では住みたい街の上位にランクされている。ネッカー川での小舟の遊覧、12月の世界最大級のチョコレートのお祭り「チョコラート (ChocolART)」が有名だ。

www.tuebingen-info.de



© DZT_Francesco Carovillano



© Black Forest Production GmbH

ホーエンツォレルン城

ホーエンツォレルン城はプロイセン王、ドイツ皇帝の城。18世紀には一時期廃墟となったが、19世紀にフリードリッヒ・ヴィルヘルム4世によって再建された。美しい外観だけでなく、豪華絢爛な伯爵の間、青のサロンやプロイセン王家所有の宝を集めた宝物庫など見ごたえ十分。冬はクリスマスマーケット、夏には城内のピアガーデンでプロイセンピルスナーを楽しめる。

www.burg-hohenzollern.com



© Black Forest Production GmbH



© Black Forest Production GmbH

ファンタスティック街道 モデルコース

ファンタスティック街道は、南西ドイツの個性的な10都市を結ぶ街道です。北の街ヴァインハイムと、南の外れのボーデン湖を結ぶと約400km。フランクフルトから南下することも、バーゼルやチューリヒから北の街を目指すこともできます。クリスマスマーケットから中世の街並み、お城まで、王道のドイツを感じる旅が楽しめます。



ツアー1 クリスマスマーケット巡り

- ゲンゲンバッハ ⇨
- ティティゼー (106km) ⇨
- コンスタンツ (95km) ⇨
- ホーエンツォレルン城 (125km)



© hochschwarzwald Tourismus GmbH

ゲンゲンバッハ：市庁舎の窓を使った世界最大のアドヴェントカレンダー
ラヴェンナ峡谷：森の中のクリスマスマーケット
コンスタンツ：ドイツのクリスマスマーケットベスト10に選出
ホーエンツォレルン城：王家のクリスマスファンタジーは毎年12月に開催

ツアー2 ワインの産地巡り

- ヴァインハイム ⇨
- ブライザッハ (221km) ⇨
- メーアスブルク (164km)



© TMBW / Dietmar Dengler

ヴァインハイム：貴重なバーデンワインが味わえる街
ブライザッハ：ドイツ有数のワイン産地カイザーシュトゥールのおひざ元
メーアスブルク：州立醸造所見学と良質なバーデンワインの試飲

ツアー3 ファンタスティック街道 文化巡り

- バーデン・バーデン ⇨
- チュービンゲン (142km) ⇨
- マイナウ島 (149km)



© Black Forest Production GmbH

バーデン・バーデン：ドイツ有数の温泉地
チュービンゲン：大学の博物館には、世界遺産「氷河期時代の洞窟」から出土した彫刻作品が展示
マイナウ島：ガーデン文化を堪能



バーデン・ヴュルテンベルク州観光局
Tourismus Marketing GmbH Baden-Wuerttemberg
Esslinger Straße 8 70182 Stuttgart

旅行会社担当：Ms. Natalie Dietl
Email: n.dietl@tourismus-bw.de
URL: <https://www.southwest-germany.jp/>

フランケン地方 セールスマニュアル



© FrankenTourismus / Holger Leue

世界遺産、旅の醍醐味、クリスマスの魅力！ 観光素材が豊富なバイエルン州北部フランケン地方

フランクフルトとミュンヘンの間に広がるフランケン地方は旅にぴったりの場所。フランクフルトとミュンヘン、ニュルンベルクの3空港からのアクセスが良いバイエルン州の北に位置する。その多様性から文化や歴史が息づく「ドイツの縮図」ともいえる地域だ。

バロック様式の華麗な建物と木組みの家が立ち並ぶ曲がりくねった小路、ぶどう畑に広大な森、スポーツと癒しのオフタイム。一見、相対するものが上手く調和するこの多様性こそがバイエルン州北部フランケン地方の魅力だ。16ある各地域で美味しい料理やビールとワイン、名所旧跡、息づく文化など変化に富んだフランケンならではの体験ができる。

中世の重要建造物が並ぶ街並み 古城街道やロマンチック街道の拠点

旅のハイライトとなるのは、フランケン地方の町々だ。見事な中世の町並みを魅せるローテンブルクやディンケルスビュール。ルネッサンス建築の城と要塞がそびえるニュルンベルク、クルムバッハ、コーブルク。領主大司教が残したバロック建築が壮大なヴェルツブルクやバンベルク、アイヒシュテット。辺境伯の遺産アンスパッハやパイロイト、エアランゲン。シュヴァインフルトやフォルヒハイム、アシャッフエンブルクにも文化財建造物が多くみられ、その筆頭はフルトだ。1,000件余りの重要文化建造物が並び、その密度はバイエルン州で最も高い。

ユネスコ世界遺産のバンベルク旧市街、パイロイト辺境伯歌劇場、ヴェルツブルク領主司教宮殿、バート・キッシンゲン（欧州の偉大なスパ）。ローマ帝国国境リメスの一部もフランケン地方にあり、バイエルン州に10ある世界遺産うち5つがフランケン地方にあることになる。



© FrankenTourismus / Thomas Glomm



© Rothenburg Tourismus Service / W.Pfitzinger

こうした多彩な文化がある場所では、テーマに沿った観光街道がヒントとなる。例えば、「古城街道」だ。フランケン南西部から北東に向かって横断し、約70の古城宮殿、豪華な居城を結び、ローテンブルク、アンスパッハ、ロート、ニュルンベルク、バンベルク、コーブルク、クローナッハ、クルムバッハ、バイロイトといった町をつなぐ。また、「ロマンチック街道」はヴェルツブルクをスタート地点とし、欧州の豊かな歴史、芸術文化を体験できるルートで、ヴェルトハイム、バート・メルгентハイム、クレクリンゲン、ローテンブルク、フォヒトヴァンゲンといったフランケンの町が連なる。

フランケンの命の源である水路メイン川は、古城街道と反対に東から西へ流れ、バイロイト、クルムバッハ、バンベルク、シュヴァインフルト、ヴェルツブルク、アッシュアッフェンブルクなどの見どころの多い町を結んでいる。メイン・ドナウ運河はバンベルクで分岐し、南でメイン川はドナウ川に繋がる。



© Loic Lagarde

アスパラガスにレープクーヘン! 名物を堪能 サイクリングやハイキングコースも充実

どちらの川もクルーズ船や遊覧船から素晴らしい景観を堪能できる。船を降りたら、フランケン地方の名物料理を味わおう。メイン川は、世界でも類を見ないほどにビール醸造所が密集する地域やフランケンワインの産地を流れ、川の両岸の丘陵にはぶどう畑が広がっている。フランケンのビールとワインだけでもひかれるが、是非郷土料理とともに味わってほしい。例えば、フランケン地方はアスパラガスの産地だ。他にもハーブが茂る牧草地で育つ羊、湖沼の鯉、種類豊富な焼きソーセージやニュルンベルク名物レープクーヘンなどが名物だ。

美味しいものの産地は、豊かな自然に触れることができる恰好の場所でもある。フランケン地方には認証を受けた50余りのハイキングコースがあり、神秘的な湿地、岩山、洞窟の他、緑の深い森が広がる。特に「フランケン山の道」はおすすめで、レンシュタイクからシュペービッシュアルプの自然景観の中を歩く。サイクリングでは「メイン川コース」や「レグニッツ川コース」、「タウバー・アルトミュール川コース」が人気だ。

旅を楽しむこととカーボンフットプリント。フランケン地方では、相反するようなこの2つが共存する。フランケン地方の自然公園群は特にサステイナブルな休暇に最適であるが、この他にも例えば、自然が近い宿泊施設、土地ならではの美味しいもの、森の癒し効果、持続可能なライフスタイルなど多方面でサステイナブルな旅を目指し、自然に寄り添った様々なイベントが年間通して行われている。



© Haßberge Tourismus / Carolin Ulric



© Fränkisches Weinland Tourismus / Holger Leue

クリスマスマーケットやウィンタースポーツなど 冬の魅力も満載

フランケンでは、冬も存分に楽しむことができる。体を動かすならスキーやクロスカントリー、ロマンチックに浸るならクリスマスマーケットがおすすめ。世界一有名なニュルンベルクはもちろん、多くの町でクリスマスマーケットが開かれ、旧市街や城、宮殿などには屋台が並びホットワインの香りが漂う。

クリスマスグッズを買うならクリスマスマーケット。通常のショッピングなら、街中のショップやアウトレットがおすすめ。有名ブランドが軒を連ねる「ヴェルトハイム・ヴィレージ」、AdidasやPUMAの本拠地ヘルツォーゲンアウラッハはスポーツ用品のメッカ。高級文房具やアート用品ならファーバーカステル社。ゲロルツグリュン村のショップや本社シュタイン城は外せない。



© Coburg Marketing / Henning Rosenbusch



フランケン地方観光局

FrankenTourismus
Pretzfelder Straße 15
90425 Nuremberg, Germany

Phone: 0049 (0) 911 / 941510

Fax: 0049 (0) 911 / 9415110

Email: info@frankentourismus.de

URL: www.frankentourismus.com



B2B/プレス : medienservice.frankentourismus.com/trade-media/

フォトギャラリー / プレスリリース : medienservice.frankentourismus.com/

レイルヨーロッパ セールスマニュアル



便利、安心、快適！ ドイツの旅はレイルヨーロッパの鉄道で！

レイルヨーロッパは90年以上に渡り、欧州を旅行する世界中の人々をサポートしてきた鉄道会社だ。鉄道はヨーロッパを旅するのに、最も分かりやすく快適な移動手段。圧倒的な文化・名所や童話の森があるドイツは、その最適な起点となる。時速320kmを超える高速鉄道は都市の中心地を繋ぎ、CO²排出ゼロの環境にやさしい旅を実現する。ドイツ国営鉄道会社「ドイツ鉄道」は、複数の空港駅を含む5700の駅を統括し、高速鉄道ICE（Inter City Express）を国内外の都市を繋いでいる。



区間乗車券とレイルパス

区間乗車券（1回乗車向け）とレイルパス（複数乗車向け）。区間乗車券でよく利用されるのは、ベルリンーミュンヘン間（3時間55分）、フランクフルトーケルン間（1時間1分）、ミュンヘンーウィーン間（3時間56分）だ。区間乗車券は1都市、または2都市を訪ねる旅に適している。1都市に長く滞在する旅は、その町の日常に触れるからこそ見つかる驚きや発見がある。

一方レイルパスは、複数の都市を訪れる旅に適している。3、4、5、7、10、15日間の連続タイプ、有効期間1カ月の間に使用日を選べるフレキシタイプがある。日付が変わる夜中から1日として利用でき、いずれの列車も乗車可能だ。（高速鉄道乗車時は、座席予約が必要なケースもある。）長期休暇では、ドイツの都市や隠れた名所をより深く観光できる。乗り放題の鉄道パスを利用して、ユニークな旅の体験を実現しよう。

ドイツ鉄道 最新ニュース

最新車両、信頼、充実の運航本数

イノベーションを生み出し続けているドイツ鉄道。現在運行しているICEは次の7種— ICE 1、ICE 2、ICE 3、ICE 4、ICE T/TD、ICEスプリンター、そして2023年導入の最新ICE 3neoだ。これらの高速列車には、スマートデバイス受信環境、自転車用スペース、照明、よりスムーズな乗降のための補助ドアといった新機能がある。

車両が進化を続ける中、サービスは信頼が高く正確だ。列車の本数も多く、旅行者が求める時間に発着する。主要都市間(例：ハンブルクーベルリン間、ケルンーフランクフルト間など)では、30分間隔で列車が運行されている。その他の区間では1～2時間間隔、これ以上の間隔はごく少数である。

利用者の多い直通区間 (ドイツ国内)：

- フランクフルト — デュッセルドルフ (1時間25分)
- ケルン — ミュンヘン (3時間51分)
- ベルリン — ハンブルク (1時間42分)

利用者の多い直通区間 (国際区間)：

- ミュンヘン — チューリッヒ (3時間30分)
- ベルリン — プラハ (4時間1分)
- ブリュッセル — フランクフルト (2時間58分)



サービスとアメニティ

ドイツの鉄道には、1等と2等がある。2等には子供連れ用のファミリーエリアが用意され、無料で利用することができる。無料Wi-Fi (データ制限あり) も利用可能だ。

忘れられない旅を望むなら、1等がオススメだ。広くゆったりとしたシート、無制限Wi-Fi、飲食サービス、無料の新聞、静かな空間を提供するクワイエットエリアもある。全国15の主要駅には、1等利用者向けのDBラウンジが用意されている。なお、座席予約は1等乗車券代に含まれている。

食堂車では、朝食、ランチ、ディナーを提供しており、誰でも利用することができる。メニューにはオーガニックやフェアトレード食材、人気のドイツ料理、高級ワインなど様々なものが並ぶ。ビストロでは、セルフサービスとバーテーブルがあり、スナックやドリンクをいつでも楽しめる。



鉄道旅行はグリーントラベル

世界中で環境意識が高まりつつある昨今。鉄道利用は、持続可能な未来に貢献する。ドイツ鉄道の長距離列車は100%再生可能エネルギーを使用し、旅行者は二酸化炭素排出量を気にすることなく旅行を満喫できる。フランクフルトからベルリンまで列車で行くと、飛行機より40分長くかかるが、搭乗チェックに何時間も列に並ぶ必要はなく、家族とゆっくりした時間が持てる上、大気汚染もないという利点がある。ドイツ鉄道は2040年までに、完全なカーボンニュートラルを目指すとしている。そうした観点からも鉄道旅行はグリーン革命への貢献に繋がるといえるだろう。

鉄道旅行 予約&問い合わせ

ドイツ鉄道の旅予約&お問い合わせは、以下レイルヨーロッパ提携旅行会社へ。



株式会社 欧州エクスプレス
RailSales事業部
URL: <https://www.ohshu.com/>
Email: newbook@ohshu.com
Tel: 050-1745-3111

トラベルプラザインターナショナル
URL: <https://www.tputy.co.jp/>
Email: fit.rail@tpi.co.jp
Tel: 03-6417-0836

株式会社ワールドコンパス
URL: <https://eurorail-wcc.com/>
Email: info@eurorail-wcc.com
Tel: 03-6455-0230

ルフトハンザ ドイツ航空 セールスマニュアル



ルフトハンザ ドイツ航空、羽田・関西からドイツ2都市へ直行便 関西—ミュンヘン線の運航も再開、夜出発で選択肢広がる

ルフトハンザ ドイツ航空は現在羽田からフランクフルト、ミュンヘン線を毎日運航している(一部期間除く)のに加えて、今年5月からは関西—ミュンヘン線の運航も再開しました。特に関西—ミュンヘン線は出発時間が夜となることで、日本各地の空港からの乗り継ぎやミュンヘン以遠の都市へのアクセスもより円滑に実現できるようになりました。さらに機材も大型かつ最新鋭のものを導入。サービス水準が向上するとともに提供座席数も大幅に増強しています。

羽田—フランクフルト線は、ボーイング747-8型機を使用して運航します。座席数はファーストクラス8席、ビジネスクラス80席、プレミアムエコノミークラス32席、エコノミークラス244席の座席数を誇っています。

羽田発のLH717便は毎日運航。ただし8月4日から30日までは木曜日を除く週6便の運航となります。フランクフルト発のLH716便は8月3日から29日まで水曜日を除く週6便運航となります。

羽田・関西—ミュンヘン線は 最新鋭のA350-900型機を使用

羽田—ミュンヘン線はエアバスA350-900型機を使用して運航。座席はビジネスクラス、プレミアムエコノミークラス、エコノミークラスの3クラス構成となっており、座席数はビジネスクラスが48席、プレミアムエコノミークラスが21席、エコノミークラスが224席となっています。特にビジネスクラスシートは開放的な設計、シート配置の工夫、そして控えめで自然な色調のデザインにより、広々とした感覚の空間を実現しています。

羽田—ミュンヘン線は羽田発のLH715便が毎日運航となっています。ただし10月4日からは月・水・金・土・日曜日の週5便運航となります。

一方ミュンヘン発のLH714便は10月2日までは毎日運航。10月3日から火・木・金・土・日曜日の週5便でのフライトとなります。

関西—ミュンヘン線はルフトハンザの日本路線で唯一、出発時間が日本発もミュンヘン発も夜となっており、出発日当日の有効活用が可能となっています。また、日本各地から国内線を利用してアクセスすることができるほか、ミュンヘン着は早朝となっており、より多くの都市への乗り継ぎが可能です。

関西—ミュンヘン線も羽田—ミュンヘン線同様にエアバスA350-900型機を使用して運航しています。関西発のLH743便は

月・水・土曜日、ミュンヘン発のLH742便は火・金・日曜日のそれぞれ週3便運航となります。

カーボンニュートラルな旅行を実現へ 欧州内路線では「グリーン運賃」を新導入

近年サステナブル(持続可能性)に寄与した旅行のあり方が求められる中でルフトハンザ ドイツ航空はフライト予約時にカーボンオフセットの取り組みに寄与することができるオプションを提供しています。これにより予約段階で旅行をより持続可能なものとすることができます。

同社が提供するオプションはSAF(持続可能な航空燃料)の利用促進を支援する取り組み、または質の高い気候保護プロジェクトを支援することでフライトのCO₂排出量を相殺するプロジェクトのいずれかを選択。または両方組み合わせ合わせた3つのオプションを提供しています。



SAFは従来の航空燃料に比べてCO₂排出量を約80%削減することが可能。同社は今後SAFを必要量使用することにしており、これに関する支援を旅行者に求めていきます。

気候保護プロジェクトは同社が環境保護法人のmyclimate(マイクライメイト)との協力のもとで推進しているプロジェクトを支援することでCO₂排出量を相殺する形でカーボンニュートラルに貢献するものです。プロジェクトの一例としてはドイツでの湿原の再生やブラジルのバイオガスプラントの建設、タンザニアでの消失危機にある森林の保護などがあり、気候保護にとどまらず、生物多様性を維持し、現地の人々の生活条件の向上に寄与することができます。

さらに新たな取り組みとして欧州内路線を対象により持続的な旅を可能にする新運賃「グリーン運賃」を導入しています。

エコノミーグリーン運賃またはビジネスグリーン運賃を選択するとSAFの使用によりフライトに伴うCO₂排出量の約20%が削減され、残りの80%が質の高い気候保護プロジェクトの支援により相殺される仕組みとなっています。この20%の削減分と80%の相殺分を組み合わせることでより持続可能な空の旅を可能にします。

機内外できめ細やかなサービスを提供 日本ードイツ間の快適な旅を実現

ルフトハンザ ドイツ航空のフライトでは、旅行者のニーズにあわせた多彩な座席とサービスを提供しています。



ファーストクラス

顧客ひとりひとりの要望に最大限に沿った対応

ファーストクラスは細部まで行き届く心配りや乗客1人ひとりの希望に耳を傾け、ファーストクラスにふさわしい旅を実現。

座席は時代を超えたエレガントなデザインや高級素材、心地よい照明デザインが利用客の五感を癒し、長旅の後でも目的にすっきりとした気分で到着できるよう、高級アメニティキットや上質のケア商品を用意しています。食事は上質の陶磁器に美しくアレンジされたメニューを用意。高級ホテルで腕を振るう世界トップクラスのシェフとの協力で機内でも選り抜きのグルメ料理を提供します。さらに独立したコースメニューとしてキャビアサービスを提供するのも特徴の1つとなっています。



ビジネスクラス

プライバシーに配慮しながら、リラックスした旅を提供

ビジネスクラスは「リラックスした旅」をコンセプトにさまざまなサービスを提供しています。ビジネスクラスのシートは全長が約2メートルの水平に眠れるベッドに変えることができるため、長時間のフライトをくつろいで過ごすのに理想的な空間を提供。

座席は開放的な設計、シート配置の工夫、そして控えめで自然な色調のデザインにより広々とした感覚の空間を実現しています。



プレミアムエコノミークラス

幅広いシートで目的地までゆったりとした旅を提供

プレミアムエコノミークラスでは、エコノミークラスに比べて全方向で最大50%広くなったシートを投入。座席の快適性が向上しています。ご搭乗時にはノンアルコールのウェルカムドリンクでお迎えます。また、座席にはアメニティキットとミネラルウォーターを用意しています。料理も陶器の食器で提供するなど、付加価値を高めたサービスを提供します。エンターテインメント関連では、11または12インチのモニターを採用。大きな画面でさまざまな機内エンターテインメントを楽しむことができます。



エコノミークラス

スリムな設計のシートで快適なフライト提供

エコノミークラスはスリムな設計の背もたれを採用することで足元の広い空間を実現。また、長距離フライトではワイドな40cmのクッションと個別に調整可能なヘッドレストの採用により快適な旅を実現しています。

このほか「Onboard Delight (オンボードデライト)」として機内でスナックを個別に購入することができるサービスも用意しています。

旅行会社の社員の皆さま向け無料会員サイト「eXperts」

旅行会社の社員の皆さまに役立つ豊富なコンテンツ

eXpertsは、ルフトハンザ グループの航空会社、オーストリア航空、ルフトハンザ、スイスインターナショナル エアラインズが旅行会社の社員の皆さまに提供する無料会員制サイトです。同サイトは、日々の業務に役立つブッキングサポートから機内サービス、空港施設の案内、会員限定の優待料金やオンラインゲームまで幅広い情報をご提供しています。

※eXpertsの会員登録サイト <https://www.lufthansaexperts.com/>

eXperts



[lufthansa.com](https://www.lufthansa.com)

 Lufthansa